

The University of Queensland

## クイーンズランド大学

## 所在地

Brisbane Qld 4072, Australia

ホームページ: <http://www.uq.edu.au/>

経済学部: 語学留学(英)

外国語学部: 語学留学(英)

## 沿革

1910年にブリスベンに設立されたクイーンズランド州最古の名門大学。オーストラリアでも有数の規模を誇り、6学部80以上の学科を有し、学生数は大学院を含め約50,000名。114ヘクタールの広大なキャンパスはオーストラリアで最も美しいキャンパスの1つ。広大な試験場を利用した農業研究を始め、ホスピタリティ、ツーリズム・マネジメント、食品科学・技術、環境・野生動物マネジメントなど様々なコースが開設されている。特に人文科学部の日本語学科は戦前からの歴史を誇る。19世紀に設立されたカソリック系教育機関に由来する伝統ある国立大学。学部は芸術、科学、教育、保健科学など多岐に渡っており、中でもNursing(看護学)、Health Sciences(保健科学)、Business & Information(ビジネス&情報科学)は社会的にも高く評価されている。

## 特色

本学からの留学生は、同大学のICTE (Institute of Continuing and TESOL Education) が開講する2つのコースのうち、いずれか1つのコースを受講する。

## ◆語学留学コース

General English(GE) : Levels 2-4 (TOEFL400 ~ 499点相当) もしくは、English for International Business Communication(EIBC) : Level 5-6 (TOEFL500 ~ 549点相当) を受講。TOEFLのスコアによって、GEとEIBCを組み合わせ受講も可能。

## ◆インターンシップコース

上記GEとEIBCの受講に加え、8月中旬から1ヶ月の間、希望の職種の職場でインターンシッププログラムに参加することができる。

ホームステイ。

## 宿泊

## 生活

キャンパスのあるSt.Luciaはブリスベンの中心地から南に6キロほどの地点にある。この地区は数多くの公園やゴルフコースのある緑多い閑静な住宅地となっている。書店、映画館、カフェテリア、コピーサービス、銀行、プール、テニスコート、ヘアサロン、トラベルエージェンツなどがあり、キャンパスでほとんどの用事を済ませることができる。また、キャンパスには、メディカルセンター、薬局、歯科、眼科があり、医療面のサービスも充実している。

ブリスベンはクイーンズランド州の州都で、人口約140万人。オーストラリアで第3番目に大きな都市。亜熱帯性の温暖な気候で、夏(12月・1月)の気温で20~29℃なので年間を通して大変過ごしやすい。市街地は大きく蛇行するブリスベン川の両岸に広がっている。周辺には南にゴールド・コースト、北にサンシャイン・コースト、東にモートン島などオーストラリアを代表するリゾート地があり、観光地へのアクセスも便利。

## 条件

## ○経済学部:

語学留学コース……TOEFL (ITP) 400点以上。

インターンシップコース……TOEFL (ITP) 475点以上または一定基準を満たす会話能力。

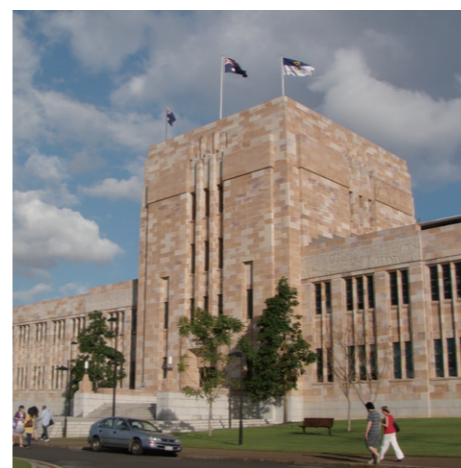
○外国語学部: 英語2専攻、IEC専攻はTOEFL (ITP) 450点以上。その他の専攻は各専攻で相談。

## 留学時期

2年次または3年次第1学期から(2月中旬~8月中旬。インターンシップコースにも参加する場合は9月中旬まで)。



ICTE-UQ



キャンパス内



キャンパス内



ブックストア



## オーストラリア留学

経済学部経営学科 2015年留学 大島 隼

楽しく充実したオーストラリア・ブリスベンでの留学生活はあっという間でした。これが私にとって初の海外経験だったのですが、とても快適に過ごすことができました。ブリスベンは、自然豊かで、人々も親切で温かく、とても過ごしやすいところです。そして、そこには様々な国から来た人々が住んでおり、様々な文化に触れることもできます。しかし、物価がとにかく高く、お店の閉店時間が早いという点には驚きました。

ICTE-UQには世界中から来た人たちがたくさんおり、彼らの年齢層は様々で、人生経験豊富な人達から私と同じくらいの年代の人達まで同じクラスで勉強をしていました。クラスはレベルごとに

分けられ、一緒に勉強してきたクラスメートは物凄く向上意識が高く、学びたいという気持ちが伝わってくるように感じ取れるくらいでした。日本とはまるで異なり、わからないこと、少しでも疑問に思うことがあったら質問をするクラスメートがたくさんいて、質問のしやすい環境で英語を学ぶことができました。

授業に慣れないうちは、自分の考えていることや、言いたいことがうまく言えませんでした。例えば、ビデオを観た後にそれについて話し合うアクティビティです。言いたいことがあるのに、相手に間違っ理解されてしまったり、発言までに時間がかかってしまったりと大変でした。それは思った以上の体力を使い、夜の8時から9時の間には寝てしまうほどでした。しかし、話すことに慣れてくると、疲労を感じる事が少なくなり、異国の友達を作ることが容易になりました。

休日はその友達と、買い物に行ったり、遊園地や動物園、旅行に

も行きました。ICTEは、10週間ごとに10日間の休みがあります。その時を利用し、ブリスベンから離れ、旅行をすることができます。私はその休日にメルボルンへ行きました。ブリスベンと全く違う街並みに新鮮さを感じました。その他にも私は休日にしばしば、バーベキューに参加しました。バーベキューには大勢の人が集まるので、たくさんの人と話す機会もありました。

ホームステイについては、最初はとても緊張しました。しかしホストファミリーは素晴らしい人達でした。私は7か月間、ホストマザーとコロンビアから来た留学生との3人で暮らしていました。彼らはとてもフレンドリーで私は緊張することや不快に感じる事が1度もありませんでした。そこは私にとって、ホームステイではなく、私の“家”のようでした。毎朝、私とコロンビアの留学生にサンドイッチを昼食として作ってくれ、学校から帰ると毎日ホストマザーが出迎

えてくれて、その日あったことや週末何をするかなど、すべての内容の会話をしていました。そして、私が体調を崩したとき、看病してくれたのもホストマザーでした。ホストマザーは、イギリス出身でも綺麗な英語を話しました。オーストラリアは基本的にイギリス英語なので、それは私にとって大きな利点でもありました。正しい発音方法から正しい英語の使い方まですべて彼女から学びました。

この留学生活は私の人生の中で最も貴重な経験であり、自信を持つことができるきっかけにもなりました。そして、オーストラリアでとても素晴らしい友達に出会うこともできました。その友達は私を大きく成長させてくれています。これからも日本以外の国々の文化に興味を持ちたいと考えています。